

Webプログラミング初級 (1)

～ショッピングサイトを作ろう～

```
1. <!DOCTYPE html>
<html>
  <body>
    
  </body>
</html>
```

さっそく商品表示、タグの src 属性に画像の URL を指定。



このように画像が出る。自分の画像を載せたい場合は、



まず画像をネット上(gijuserve など)にアップロード。

```
2. <!DOCTYPE html>
<html>
  <body>
    
  </body>
</html>
```

そこで得た URL(ex. http://localhost:8880/IMG_3711.jpg)を src に指定する。



すると表示はされるが、アップロードした画像がデカすぎた。

```
3. ~~~~~途中～部～分~~~~~
<body>
  
</body>
</html>
```

そんな時はこんな style 属性で height を 200 ピクセルに指定すれば、



見た目を小さくできる。

```
4. ~~~~~途中～部～分~~~~~

<p>太陽追跡機 ¥3,000</p>
</body>
</html>
```

商品説明を入れるなら<p>タグなんかで、

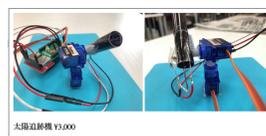


こんな感じ。

```
5. ~~~~~途中～部～分~~~~~


<p>太陽追跡機 ¥3,000</p>
</body>
</html>
```

商品を詳しく、複数の写真で見せたい時はタグを増やして、



こんな具合。

Webプログラミング初級 (2)

～ショッピングサイトを作ろう～

```
1. <!DOCTYPE html>
<html>
  <body>
    
    
    <p>太陽追跡機 ¥3,000</p>
    <button>購入</button>
  </body>
</html>
```

では「購入」ボタンをつけよう、このように<button>タグで出せる。



「購入」を押してもまだ何も起きない。

```
2. ~~~~~途~中~部~分~~~~~
<p>太陽追跡機 ¥3,000</p>
  あなたの名前<input name="注文者"> <button>購入</button>
</body>
</html>
```

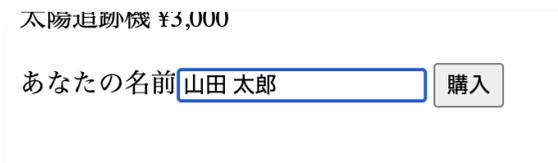
購入ボタンを押すのに、ショップ側としては誰なのかを知りたいので、このようにして名前を入力してもらおう。



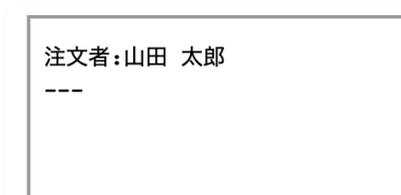
名前の入力欄が完成！

```
3. ~~~~~途~中~部~分~~~~~
  <p>太陽追跡機 ¥3,000</p>
  <form action="http://localhost:8880/太陽追跡機" method="POST">
    あなたの名前<input name="注文者"> <button>購入</button>
  </form>
</body>
</html>
```

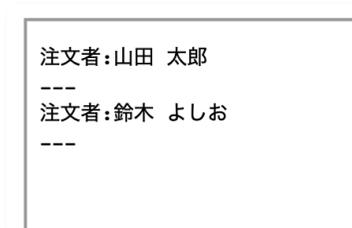
最後に<form>タグで注文先の指定、action 属性には gijuserve の URL を指定、今回は商品名そのまま "/太陽追跡機" にした。



さあ、名前を入力して「購入」ボタンを押してみよう。



注文が入ったね。



購入者はどんどん追加されていく。

ショップ側の担当者は gijuserve の注文ページ「<http://localhost:8880/太陽追跡機>」をブラウザで直接開いて見れば、今入っている注文を確認できる！

2つ目の商品も注文できるようにしてみよう。

